

Title	語文 第26輯 編集後記/投稿規定/奥付
Author(s)	
Citation	語文. 1966, 26
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/68574">https://hdl.handle.net/11094/68574</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

## 編集後記

予定より遅れましたが、第二十六輯をお届けします。この後記を記しておりますのは、まだ梅雨も明けきらず、鬱陶しい昼下りですが、実際にお手許に届くのは、からりと晴れた夏期休暇最初の旬日かと存じます。所載の力作五篇を味読載くには恰好の頃、御精読を庶幾する次第です。

本輯には紙幅の都合で彙報欄を設けることが出来ませんでしたので、この後記を借りて研究室便りといいたします。前輯後記にも予告しました通り、昨年四月より、研究室が文学部新館三階に移転。各教官室とも隣り合って、今までの不便は解消し、昨年後期には待望の国語学講座も開設されて研究指導体制も除々に整備されて来ました。国語学教授には京都大学から池上順造先生をお迎えしましたが、従来より講師として御指導戴いておりましたから、改めて御紹介の要もないと存じます。また昨年六月には教養部国文学助教授に愛知県立大学より川口朗先生が御就任。森鷗外講読を中心に近代文学の研究指導を載いておりますが、近代文学専攻志望者漸増の折から、この上ない朗報と存じます。

(件)

## 投稿規定

- 直接購読者は投稿することができます。
- 原稿の内容は国語・国文学、国語教育に関するものであること。分量は四百字詰原稿用紙三十枚以内とする。
- 原稿の送り先は「豊中市柴原、大阪大学文学部国文学研究室内、語文編輯季員」宛。
- 原稿の採否は編輯委員に一任のこと。
- 採用しなかつた原稿は返送料が添付してあれば返送に応ずる。
- 一括購読者が投稿する際には代表者から紹介せられたい。

¥ 100

---

発行所 大阪市南区横堀7丁目19 文進堂 振替大阪112730番 電話船場(251)1990  
編輯者 大阪府豊中市柴原 大阪大学文学部国文学研究室 代表 池上 禎 造